

広報クイズ④

500円の図書券が当たるよ

広報クイズ、6月号の正解は①-C  
②-C、③-Bでした。応募総数は28  
通で、全員が全問正解でした。読者の  
皆さんとのたいせつなコミュニケーシ  
ョンの輪を、もっともっと大きく広げ  
たいと思います。たくさん応募してね!

**【問題】**  
①市制30周年を記念して作られた行政  
広告塔の高さは? (ヒント=3ページ)  
②今年の大風合戦、大風の部で優勝した  
のは? (ヒント=7ページ)  
③今年の大風合戦で北海道からやって  
来たのは、どこの町の町長さん?

(ヒント=11ページ)  
④襟裳町 ⑤日高町 ⑥様似町  
**【応募方法】**  
♥はがきに答えの記号(例、①-A)、  
住所、氏名、年齢を書いて送ってくだ  
さい。全問正解者の中から抽選で5人  
に500円の図書券をプレゼント。クイ  
ズの答えのほかにご意見、イラスト、  
情報などなんでも書いてね。

♥あて先=〒950-12 白根市大字白根  
1235 白根市役所 広報クイズ係  
♥締め切り=7月20日(木)必着  
♥抽選=7月21日(金)に市民生活課の  
窓口に来られた人をお願いします。  
♥発表=8月1日号

6月の広報クイズ  
**当選**  
おめでとう!



- ▶ 齊藤キミ子さん (三の町・42歳)
  - ▶ 笹川 桂さん (東町・?歳)
  - ▶ 坂井せきさん (大字白井・38歳)
  - ▶ 富所蘭子さん (高井興野・40歳)
  - ▶ 五十嵐寿代さん (大字東笠巻・16歳)
- 6月21日(木)に市民生活課窓口に来られた  
大塚松栄さんから抽選していただきました。

はがきで  
キ ャ ッ チ ボ ー ル



5月1日号の広報クイズに  
お寄せいただいたはがきの  
中からいくつか紹介します。

**命** 制三十周年の行事の数々が  
盛会になることを期待して  
います。  
五六の町 鈴木民治

**行** 事を盛会にするには、お  
ぜいの市民の皆さんといっ  
しょになって行うことがたいせ  
つだと思えます。皆さんも積極  
的に参加してください。お願い  
します。

**広** 報しろねを毎号楽しみに読  
んでいます。今度投稿を考  
えています。  
新飯田 白野レン

**楽** しみにしています。この一  
言が私たちの励みになるの  
です。いつも編集していただき  
るのは、この記事を読んでも  
れるのだろうか、せめて見出し  
だけでも読んでほしいというこ  
と。こういうことを特集してほ  
しいとか、ここをもっと知らせ

**任** れからも楽しいクイズなど  
をよろしく願います。  
東町一丁目 坂井サヨイ

**イ** ラストコーナーでもっとイ  
ラストの数を増やしてほしい。  
四ツ興野 吉沢美鈴

**毎** 月、たくさんの力作が届き、  
うれしい悲鳴です。数を増  
やすには、スペースが足りない  
ので、しばらくは現状のまま、  
続けてみたいと思います。  
啓 新緑の候、広報係の皆  
様ほんとに御苦労さまです。  
五月の連休も終わり、桃の手入

れ、畑作の合間をみて、帰省中  
の長男に連れられて一日の行楽  
を楽しみました。今日七日、一  
週間の連休を無事こなして、朝  
横浜に帰って行きました。  
今朝は久しぶりの雨で広報し  
ろねをゆつくり拝見させていた  
だいております。先回の広報ク  
イズ①で当選おめでとうの自分  
の名前を見て、恥ずかしくなっ  
たり複雑な気持ちで読ませても  
らっています。殊に?歳とあり  
やはり歳は争われないとしみじ  
み感じております。還暦を十一  
歳過ぎましたので、十一歳と記  
すことにいたします。  
申し遅れましたが五月一日付  
け図書券をご送付に預かり、あ  
りがたく拝受いたしました。厚  
くお礼申し上げます。  
茨曾根 栗田清次

市民談話室

8月1日号の原稿を募集します。皆さんが  
日ごろ考えていることや身近な出来事など、  
気軽に投稿してください。字数は400字から  
500字程度とします。あて先は、〒950-12  
白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整  
課 広報広聴係 (☎373-2111) (F)333) です。



市ゲートボール大会で優勝  
桜の花の下で記念撮影

高年齢者のスポーツと言えはす  
ぐにゲートボールが思い出され  
るほど、ゲートボールは普及し  
ています。私たち老人が体力を  
維持していくためには、体に適  
した、無理をしない楽しくでき  
るスポーツが必要です。老人  
クラブが健康活動の一つとして  
ゲートボールを取り上げたのも  
当然のことでしょう。大きな声  
で笑ったり、人と触れ合いなが  
らの運動は、最高の心と体のク  
リーニングなのです。  
昭和六十年秋、下鷲ノ木ゲー  
トボール愛好会が誕生。以来風  
雪に負けず元気で紅白の熱球を



田村 哲さん (鷲ノ木桜町無職 六十七歳)  
**ゲートボールの青春  
心と体のクリーンング**



今年もたくさんの人出で  
にぎわったおまつり広場

川柳  
こんがりど妬ける夫婦も六十路坂  
首切りの噂に脅えているパート  
肩車の子がもてあそぶアデランス  
不器用は遺伝の所為と諦める  
落ちていた釣針決め手の逮捕状  
写経する筆から消える罪ひとつ  
他人でも義理ある人の通夜に泣く  
投票箱の中に泣く票笑う票  
親戚に近くの他人も入れておく  
母の鼻高くしている子の版画  
灰色の虹が消えない永田町  
糸通す時間惜しまぬ齢となる  
人情を集めて走る献血車  
足の先までも耐えている失意の身  
ワイングラスに殺し文句が伏せてあ  
る  
後藤マサノ  
佐藤トミノ  
佐藤 ヨキ  
高橋祐四雄  
田中 成子  
田村 恒夫  
中村 尚治  
西条 ムラ  
早川 英男  
山岡 フミ  
吉川 彰



鬼よりも怖い怖い消費税  
短歌  
好きな酒共に飲まむと命日の  
兄の石碑にワンカップ上ぐ  
限り無き波のしぶきをあびつつも  
雄、しく生きる間瀬の岩松  
同級会顔を見合わし喜びも  
老の語に時間も忘れて  
山麓の雑木に高く一本の  
杉にかかりて藤の花見ゆ  
俳句  
客受けて老母差し出す桜餅  
三日月に色あざやけり紫陽花の  
玉木 長吉  
中村 京  
波辺 勤